

山梨 浩利先生のこころとからだを癒すアート 「輝き」

本誌を横にしてご覧いただくと、3D(立体的)にみえてきます。この時、脳波は自然界(地球)と同調しています。眺めることで心身の健幸に、飾って場の浄化などにもお役立てください。

山梨浩利先生の HADO講座

第37回

HADO(波動)的観点からみた 食材 その14 納豆

HADO(波動)の概念

HADO(波動)数値とは、生体・細胞が感じる度合いのこと。

プラスの数値は生体・細胞が共鳴・同調していることであり、この数値が高いほど、生体・細胞が「喜び・感謝」している状態を示しています。

逆に、マイナスの数値は生体・細胞が非共鳴・拒絶していることであり、この数値が低いほど、生体・細胞が「嫌がる・拒否」していることを示しています。

すなわちHADO(波動)数値とは、自然の一部である人間と、自然界の摂理との調和度合いの目安となるものです。

ネバネバ成分が効く！

いまや海外でも人気沸騰の納豆。ひと昔前まで、独特のネバネバ感などから敬遠されていたことがウソのようです。

今回はHADO(波動)的観点から「納豆」を分析してみました。

測定に用いたのは国産大豆を原料とした、一般的なスーパーで入手可能なものです。

表をみると「血液循環」「胃」「腸」の数値が際立っています。これはネバネバ成分に含まれる「ナットウキナーゼ」という酵素が血栓を溶解して、血液の流れをスムーズにしてくれること、さらにアミラーゼやプロテアーゼという酵素が食べ物の

| 納豆 | |
|----------|-----|
| 免疫 | +11 |
| 血液循環 | +13 |
| 胃 | +12 |
| 腸 | +12 |
| 皮膚 | +9 |
| 骨粗鬆症 | +13 |
| ホルモンバランス | +10 |
| 過酸化脂質 | +9 |
| がん | +8 |
| 疲労 | +1 |

HADO(波動)数値は0を基準として+20から-20までの数値で測定します。

+15以上
癒し効果の高い極めて
優秀な食材

+10以上
健康に役立つ優秀な食材
(肉・卵は+7以上で該当)

+6以上
一般的な食材
(肉・卵は+4以上で該当)

0以上
少し低めのレベルの食材

-の数値
健康に負担がかかる
可能性のある食材

消化・吸収を助けられる働きがあることに起因すると考えられます。一食分に約5g含まれている食物繊維の多さも、こうした数値にあらわれているといえるでしょう。

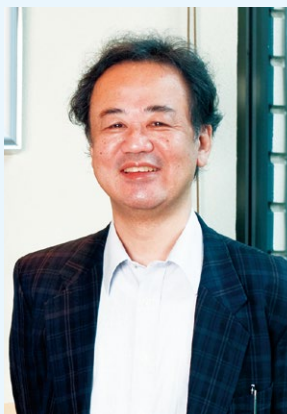
ビタミン類も豊富な食材

納豆にはビタミン類も豊富に含まれています。

ビタミンは「皮膚」や「骨」の形成にも深く関係しているため、美容や「骨粗鬆症」の予防という観点からみても、たいへん優秀な食材ということになります。

また大豆に含まれるイソフラボン、女性ホルモンのエストロゲンと似た働きをして、ホルモンバランス

を調べてくれることがわかっていますが、こちらにも「ホルモンバランス」の項目が高いことから、その効果を期待できることがわかります。最初に納豆を食べてみようと思っただけの勇氣に感服しながら、日々感謝していただきたいと思います。



エヌ・ピュア 研究開発顧問
山梨浩利

1962年静岡県焼津市に生まれる。1985年中央大学理工学部工業化学科卒業。大手食品会社で主に食品の研究開発に従事。数々の商品を世に送り出す。サトルエネルギー学会、機器検討委員会などにも参画。その活躍は、広く海外にまで広がっている。現在、山梨事務所を設立し、微生物・発酵・鉱物をテーマにした本物商品の研究や企画開発などを行っている。(株)エヌ・ピュア 研究開発顧問。著書に『見るだけ聴くだけ 超快眠！CDブック』『同超開運！CDブック』がある。